



今月の連載関連本

連載「野獣のリアル勉強法」(p.1270)にて、“「救急総合診療」虎の巻”として紹介された書籍から弊社刊のものを3冊ご紹介。



<ジェネラリスト BOOKS>

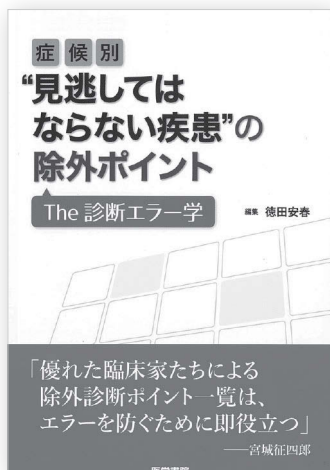
身体診察 免許皆伝

目的別フィジカルの取り方 伝授します

平島 修、志水太郎、和足孝之＝編

本体 4,200 円＋税／A5 判・248 頁／医学書院／2017

全国でベッドサイド教育を展開する編者らによる身体診察の決定版！ 外来・病棟・在宅で、ある疾患を疑ったら次に何をすべきなのか？ 臨床ですぐに使える次の一手を、こだわりの写真とともに伝授。便利な検査機器が、常に身近にあるとは限らない。視て、聴いて、触って、嗅いで、rule in / rule out できる徒手空拳の技（アート）を身につけよう。“最強の一番弟子”にならないか？



症候別 “見逃してはならない疾患”の除外ポイント

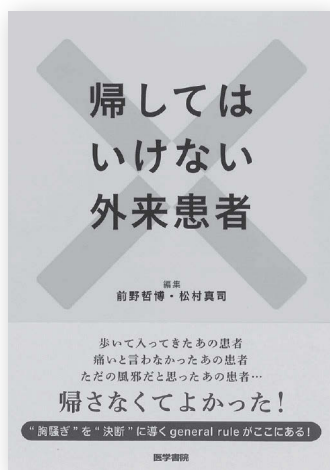
The 診断エラー学

徳田安春＝編

本体 4,400 円＋税／A5 判・352 頁／医学書院／2016

本誌にて好評を博した特集「症候別 “見逃してはならない” 疾患の除外ポイント」Part 1～3 をバージョンアップして書籍化しました！ p.1284 に書評あり。

主要な 40 症候について、① “見逃してはならない疾患” のリスト、② 各疾患についての除外ポイント、③ 見逃すとどの程度危険か、④ まとめとパールで構成。診断エラーを防ぐための、優れたエキスパート診断医による的確なアドバイスが即役立ちます！



帰してはいけない外来患者

前野哲博、松村真司＝編

本体 3,800 円＋税／A5 判・228 頁／医学書院／2012

「ただのかげだと思って帰したけれど……」。外来で何となく胸騒ぎを覚えた時に、見逃してはいけないポイントはどこにあるのか？ 決断の手助けとなる general rule をまとめた。外来診療で必要とされる臨床決断のプロセスや、症候ごとの診察の視点が、たくさんの症例を引きながら、わかりやすくまとめられている。